

(5) 安全できれいな海を守る

わたしたちが住んでいる村は、まわりを海にかこまれています。海では船を使って人や荷物を運んだり、みんなが食べている魚をとったりしています。わたしたちは、この安全できれいな海を未来にのこしていかなければなりません。

① 海の安全を守る

海で事故などが起こったときに人を助けたり、海がよごれるのを防いだりするのが海上保安庁の仕事です。

いつもは、巡視船や航空機に乗って、海のパトロールをしています。事故が起こったらすぐかけつけます。

また、夜に光っている灯台の点検や修理をしたり、海の深さや浅瀬の場所を知るための海図を作ったりして、海ではたらく人たちの安全を守っています。



【 パトロールする巡視船 】



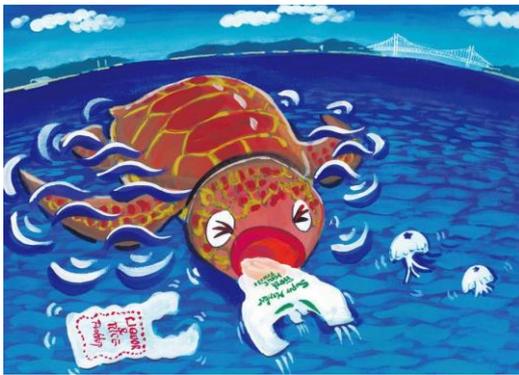
【 そうなんした人を救助する訓練 】



【 灯台 】

② きれいな海を守る

きれいに見える青い海ですが、たくさんのゴミがういたり、流れたりしています。海の生き物の中には、ゴミをえさとまちがって食べてしまったり、ゴミがからまって動けなくなってしまうことがあります。海にあるゴミをへらしていく必要^{ひつよう}があります。わたしたちがすすんで海にゴミをすてないように気をつけましょう。

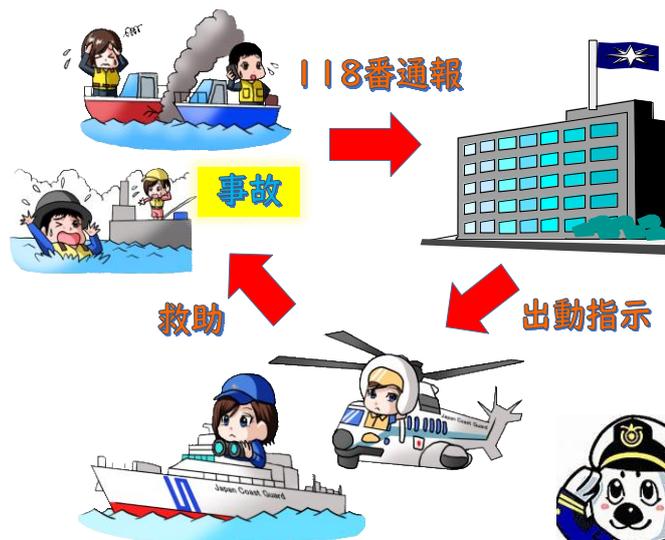


【ゴミをまちがって食べるカメ、ゴミにからまって動けなくなったカメ】

③ 事故が起きたら

事故が起きたら、はやく通報^{つうほう} (118番) することが大切です。

通報すると、海上保安本部の指令センターにつながります。指令センターから連絡を受けた海上保安部から、巡視船や航空機が出動して救助に向かいます。



海上保安庁のイメージキャラクター「うみまる」



©JCGF

【海で楽しく遊ぶために、海上保安庁からのお願い】

海で遊ぶのは楽しいですが、安全に遊ぶために次のことに注意しましょう。

- 子どもだけで海に遊びに行かない、大人といっしょに行こう！
- 遊泳禁止区域^{ゆうえいきんしきういき}では泳がない！
- 行く前に天気予報^{よほう}などで波が高くないか調べよう^{しら}！
- ライフジャケット (救命胴衣^{きゅうめいどうい}) やうき輪^わなどを準備^{じゅんび}しよう！